



広報

# かなぎ

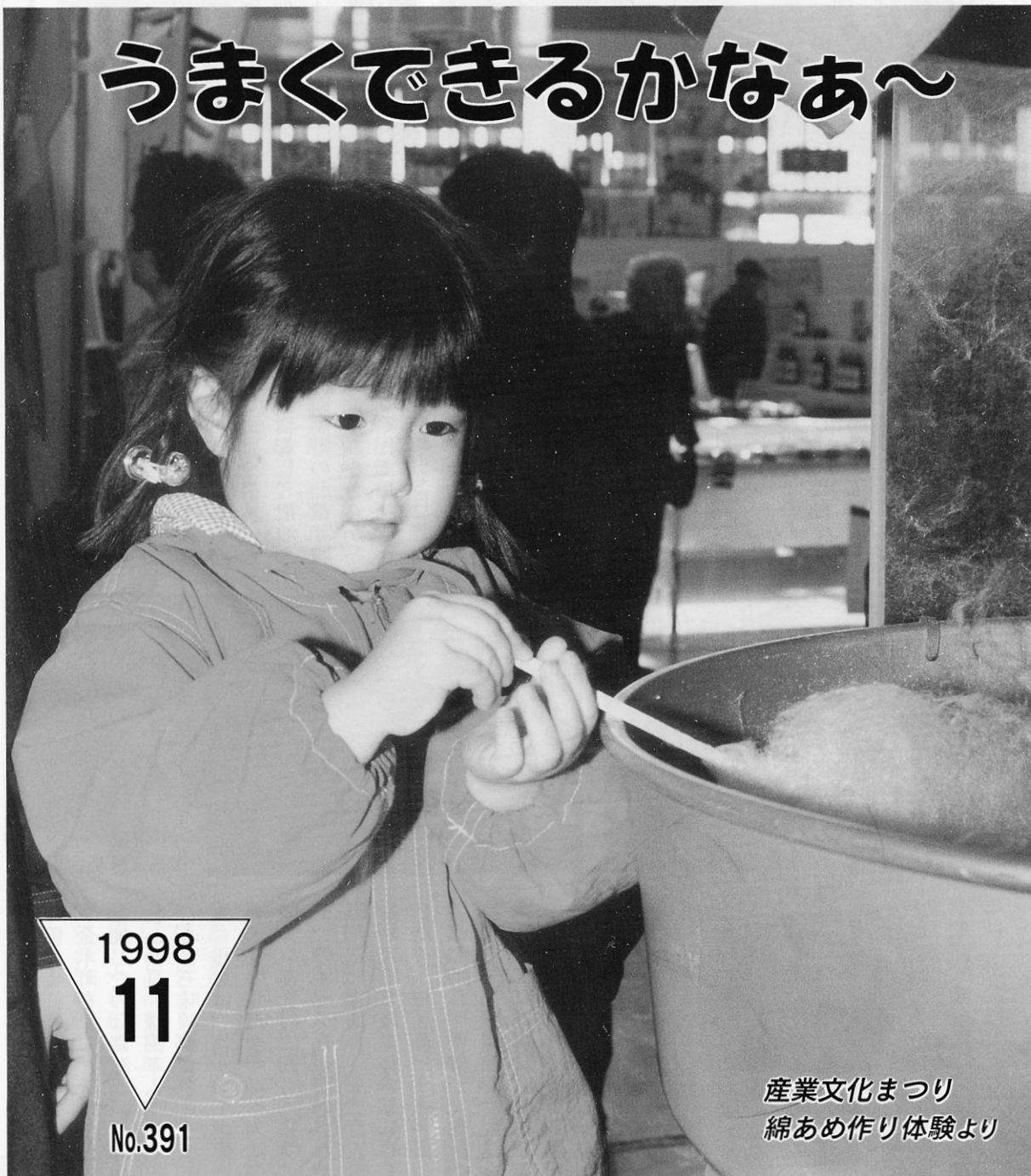
編集と発行

金木町企画室

青森県北津軽郡金木町  
大字金木字朝日山323  
電話☎2111 内線240

\*\*\*\*\*

## うまくできるかなあ～



1998

11

No.391

産業文化まつり  
綿あめ作り体験より

# 地を訪問

## 東京都三鷹市(青空市場)

十月中旬から下旬にかけて、太宰治ゆかりの地である山梨県河口湖町と東京都三鷹市に当町から金木町太宰会と町商工観光課・産業課が訪れ、太宰文学碑巡りや物産販売、観光キャンペーンを行いました。没後五十年、新たな光が注がれる太宰に触れる一方、ふるさと金木をアピール。このような交流が、将来へ向けての町活性化につながるものと期待されます。その様子をみなさんに紹介します。

### 河口湖町

太宰の郷づくりのため、様々な角度から太宰治を研究している金木町太宰会(会長)



▶天上山にある

文学碑を囲んで

木下巽)の一行二十人が十月十七日から十九日、三鷹市禅林寺に眠る太宰と妻美知子さんの墓参をしたほか、千葉県船橋市にある太宰旧居跡などを見学。その後、当町と友好関係を結ぶ河口湖町を表敬訪問しました。

現地夕方到着し、宿泊ホテルには河口湖町の助役、収入役、教育長のみなさんが訪れ、歓迎してくれました。太宰会々員は翌日(十九日)、同町職員の家内で昨年六月、天上山に建立された「惚(ほ)

れたが悪いか」と刻まれた太宰文学碑を見学。天上山は、太宰作品「お伽草紙」の一篇「カチカチ山」の舞台となつたところ。碑は背景に富士山

正面に河口湖が望める景勝地にあり、会員らは「こんな素敵な場所に文学碑が建てられ、太宰さんも喜んでいてることでしよう」と話していました。

その後、役場に小佐野常夫町長を尋ね、しばしの間歓談した後、同町のハーブ館などの施設を見学しました。

同じく二十四日、町商工観光課が同町を訪れ、観光キャ

ンペーンを行いました。四月に締結した「太宰のふるさと友好都市」の交流事業として行われたもので、当町の職員

無料でプレゼント



米やリンゴを

が河口湖町を直接訪問したのは協定書締結後初めて。金木町をPRということで、参加したのは嘉瀬奴踊り保存会(会長鎌田孝人)のメンバーと三味線演奏者ら三十二人。当日は、朝から小雨模様の天候でしたが会場の大池公園で「富士河口湖もみじマーチ」のイベントが開催されていたこともあり、千二百人余りの人出でにぎわいを見せました。

はじめに、県無形文化財の奴踊り、三味線演奏や民謡を披露して津軽の郷土芸能を楽しんでもらいました。引き続き、当町で生産された米(つがるロマン)三百gを七百袋とリンゴ約千個、太宰治記念館「斜陽館」の絵ハガキなどを一緒に、訪れた方々に無料で配布しました。

### 三鷹市

翌二十五日には、同産業課が三鷹市で開催された「第二七七回三鷹市青空市場」に今年初めて参加しました。

青空市場は、特産品、民芸



▶伝統芸能「奴踊り」を披露する保存会のメンバー

# のりゆう太

## （キャンペーン）町湖河口梨山（観光）

品などの販売を通して同市との交流の場となつていゝるもので昭和五十年に開設され、今年で二十三年目を迎え、年に数回行われています。

▲特産品「うめロマン」を販売する加工組合の方々



▲早朝から大勢が押し寄せる即売会場



同市と姉妹・友好関係にある市町村が参加していて県内では当町だけ。山形県や長野県などから合わせて七自治体が参加してました。

当町からは、トマトやリンゴ、梅干やヒバの工芸品、特産品の梅ジュース「うめロマン」などを陳列。「太宰治と青森リンゴ」のネームバリューのおかげか、早朝五時の開店時には仮店舗に長蛇の列ができてリンゴ、トマトはまたたく間に完売。梅干も、シソの葉で包んだ珍しい味と好評を得て、販売額も予想以上に伸びました。

今回のこの様な取り組みや相互交流が、地場産品の販路拡大、そして町活性化へのパイプ役となつていくものと思ひます。河口湖町、三鷹市を訪れた担当課では、予想をはるかに超える反響を喜ぶ一方で、今回の訪問での反省点を課題として、より一層充実したイベントにしていきたいと思ひます。  
太宰の遺産がまた一つここに実を結び、残されたことになりました。



▲若い女の子に人気の的の河口湖ハーブ館別館「香水の舎」

### 太宰作品感想文集「新樹」

#### 86点が入選

金木町太宰会（会長 木下 異）が発行している「太宰文学作品読書感想文集『新樹』」の入選者表彰式が十一月三日、中央公民館で行われました。ふるさとの偉大な作家に親しんでもらおうと平成七年度から行われ、今年が四回目。町内の小・中・高校生を対象に感想文を募集して今回は百十五作品が集まり、審査の結果八十六点が入選しました。表彰式では、各学校の代表者七名に木下会長から表彰状と記念品が贈られました。



▲木下会長から表彰される各校代表児童・生徒

県内外から高い評価を受けているこの文集は、今年太宰没後五十年に当たることから例年の倍の作品を掲載予定で、特集号として来年三月に発行されます。



# 秋の祭典

## '98 産業文化まつり

'98 金木町産業文化まつりが十一月一日から三日まで、中央公民館（文化まつり）と農業者トレーニングセンター（産業まつり）で開かれ、多彩なイベントに連日大勢の町民らが訪れて大いににぎわいました。

文化まつりの部では、小・中学生による県無形文化財の「金木さなぶり荒馬踊り」「嘉瀬奴踊り」の共演や吹奏楽部員の演奏会、園児らのかわいらしいメロディオン演奏や遊戯などの学習発表会。“美”を

追求した着物ファッションショー、八回目を迎えた町民歌謡祭などが行われました。また、芸術的なお花や盆栽、陶工芸品の数々。力作が並ぶ書や絵画に訪れた人は目を奪われていました。



産業まつりの部は、町内で生産された農林産物の展示会や新鮮な野菜などの即売会。子供らは、綿あめ作り体験に長蛇の列をつくっていました。まつりの目玉、最終日に行われた「お楽しみ抽選会」には、



会場いっぱいを訪れた人たちが集まりプレゼント総数一四〇本、一等が二五、〇〇〇円の商品券が当たるとあって当選番号が読み上げられるつど、場内は歓声とどよめきで一喜一憂していました。



一年間の苦勞が報われ、出来秋に感謝し、日ごろの成果を競い合い、笑いと感動の様々な発表会を楽しみ、子供からおじいちゃん、おばあちゃんまでのすべての人が爽やかな秋を満喫していました。





# 5周年

## ふるさとかなぎ会

### 懐かしい顔が勢ぞろい

金木町出身者と町にゆかりのある方々で平成六年に発足された「ふるさとかなぎ会」(会長 津島義雄)の五周年記念総会が十月十七日、中野サンプラザ(東京都中野区)で開催され、首都圏在住の約六十人が出席しました。

総会には、鳴海町長や津島園子さん、東京県人会を代表して副会長の野呂妙子さんらが招待されました。

津島会長は「設立五周年にあたり郷土・金木町と首都圏との架け橋となって、さらなる町の発展のために努力していきたい」とあいさつ。続いて鳴海町長が「景気低迷の今、町特産品の販路拡大のために皆さんの協力をお願いしたい」と、首都圏でのPRを懇願しました。



▲久々の再会に杯も会話も弾む



▲あいさつする津島会長

会場では、斜陽館のテレホンカードや梅ジュース、町商工会からプレゼントされたヒバの表札などが当たるビンゴゲームが行われ、和やかな雰囲気の中で一年ぶりの再会に会話も弾んでいました。

神奈川県で開催された第五十三回国民体育大会「かながわ・ゆめ国体」の相撲少年の



▲健闘を誓う小松選手(右)と増田選手(中)、左は白川さん

部に出場した小松大也選手

(五農三年・東町)と増田匡紀選手(五農三年・大東ヶ丘)が十月二十一日、役場を訪れ、鳴海町長らに国体出場を報告しました。

昨年に続いて選ばれた小松選手は今年の高校総体で個人優勝、そして二国体でも無差別級優勝。一方、増田選手は高校総体体重別で二位、東北大会一五kg級優勝と、それぞれの好成績が認められて

の大会出場となりました。

金木町相撲界の指導、育成に力を注いでいる白川與助さん(沢部)に引率された二人は「昨年より上(第三位)の成績が残せるように、また総合優勝目指して頑張る」と語っていました。

本大会では、二人とも前評判通りの活躍をみせ相撲少年団体の部で第三位に入り、青森県の総合優勝に貢献しました。

## 相撲

### 「国体出場」小松大也選手・増田匡紀選手 「全国大会準優勝」野上伶君・津島祐希君

東京都立川市・立川練成館相撲場で十月十一日に開催さ



▲笑顔で報告に訪れた津島君(左)と野上君(右)

れた第十五回全国少年相撲大会個人戦に出場した金木小学校二年の野上伶君と同三年の津島祐希君がそろって全国大会準優勝に輝きました。

全国の精鋭が集う同大会は、ちびっこ力士の登竜門であり、未来の横綱・大関を目指す子供たちにとって現在の力を試す場となっています。

参加者は二年の部が六十三人、三年の部が百二人と大勢が出場していて、大会日程も一日限りとハードスケジュール

が十月三十日、蝦名昭逸校長と白川勝信監督に引率されて役場を訪れました。鳴海町長から「強い」ということは体だけでなく、心も強くなければいけない。おごらずにこれからも頑張るように」と激励され、また居合わせた今誠康県議も「よく頑張った。おめでとう」と祝福しました。

まちのびる

活彩あおもり大祭典



▶本番に向けて練習に励む皆さん

金木さなぶり荒馬

文化観光立県宣言に伴うイベントとして十二月四、五、六日の三日間、東京ドームで「活彩あおもり大祭典」が開催されます。

二十一世紀に向けて新たなスタートを切った青森県が、首都・東京を舞台に自然、文化、観光などをアピールするイベントです。当町からは、県無形文化財に指定されている「金木さなぶり荒馬保存会」

(会長 徳田長弘)が出演します。

荒馬、太刀振り、獅子舞の共演。鳴り響く笛、太鼓に鐘の音。本番に向けて演技に研きをかけるみなさんは、仕事を終えた後に中央公民館で練習を積んでいます。

さなぶりは、県内各地にあります。さなぶりは、「派手さ」と「ドラマチックさ」において群を抜いている金木さなぶり荒馬踊りは十二月四日、東京ドームでその雄姿を披露します。

「子猿」すくすく成長「芦野児童動物園」

芦野公園内にある児童動物園で、この春に生まれた子猿が元気におりの中を駆け回っ



▶ほのぼのとした姿が人気を集めている親子猿

て、愛くるしい姿を振りまいています。

子猿が誕生したのは桜まつり前の四月十一日で、生後間もないころはほかの猿にいたずらされてケガをするなどしていましたが、半年経過して体長も現在は生まれた当時の約三倍、三十cmほどに成長してトウモロコシと麦をブレンドしたえさを元気によく食べて

います。

昨年、この子猿の親猿には子猿が誕生したが一カ月くらいで亡くなり、以前も生後間もなく亡くなっていることから、当初は成長が危ぐざれていたものの、すくすく成長したことで関係者もホッと一安心。乳離れがまだできず、母猿に抱き抱えられながらの姿はほのぼのと映り、訪れた人の目をくぎ付けにしています。

剣道で心身育成  
防犯功労団体表彰受賞  
金木剣武館

金木剣武館(館長 一戸彰晃)が、十月十三日に八戸市で開催された地域安全青森県民大会で青森県防犯連合会長・青森県警察本部長連名、防犯功労団体表彰を受けました。子供たちの健全育成のため

少年の防犯意識の高揚を図るため平成元年から金木地区防犯親善剣道大会に連続して十回出場するなど、父母や子供たちが積極的に活動していることが認められました。地道な活動が実を結び、喜びを分かち合いたいとのほど、父母やOBらが集まり受賞祝賀会が開かれました。席



▲受賞を喜ぶ一戸館長と少年剣士たち

上、一戸館長は「足掛け十五年の節目に名誉ある賞をいただいております。これに機をいっそう頑張りたい」と語っていました。二十四団体が表彰を受けた中で、スポーツ団体としては唯一選ばれた剣武館のみなさんには、今後ともスポーツを通して防犯活動に力を注いでくれればと思います。

# 『太宰をもっと知りたい』

## ― 金木高校 文学碑や斜陽館見学 ―

個性輝く学校づくり推進事業として「太宰治研究」を



▲斜陽館内を見学する生徒たち

施している金木高等学校（校長 岩見幸夫）の全校生徒が十月九日、近隣市町村の太宰関連施設や文学碑を巡り、太宰について理解と関心を深めました。

同校では、太宰が生まれ育った町の高校として地元出身の偉大な作家のことを知らないのは寂しいし、人に聞かなくても応対ができるようにと活動を始めてから今年で三年目

になります。

この日は学年別に、小泊村の「津軽」の像記念館や蟹田町観瀾山にある太宰文学碑、青森市合浦公園内の旧制青森中学跡地を見学。一、三年生は午前、午後とに分かれて生家「斜陽館」を訪れ、引率教諭の説明を聞きながら館内を見学しました。一年生の男子生徒は「中学時代に授業で『走れメロス』を学び感動を覚えた。もっと、もっと太宰を知りたい」と感想を語ってくれました。

# “天災は忘れたころにやって来る”

## 総合防災訓練



▲小田川城で放水訓練をする消防団員ら

天災や人災に備えた金木町総合防災訓練が十月十六日、金木消防署前と小田川城敷地内で行われ、町消防団員や消防署員、婦人防火クラブ員ら関係者約二百五十人が参加しました。

防災訓練は県内を震源地とした地震が発生し、喜良市地区内で出火、山林に延焼中。また、公民館で避難中に逃げ遅れてケガ人が出たという想定で行われました。

小田川城では消防団員三十人が六台のポンプ車を連ね、三百メートル間を素早い動作で中継送水しながら、来賓らが見守る中、放水訓練をしました。また、消防署前で行われた救助活動では署員三人が、煙中検索で逃げ遅れて負傷した人を救出し救急搬送するなどを訓練したほか、婦人防火クラブ員による消火器での消火活動、団員らによる土のう積み上げの水防工法訓練が行われ、参加者は真剣な表情で取り組んでいました。

# 決意新たに百二十周年

## 喜良市小で記念式典

喜良市小学校（校長 長谷川俊介）の創立百二十周年記念式典が十月二十五日、全校児童と関係者ら約三百人が出席して盛大に行われ、さらなる発展を誓い合いました。

同校は、明治十一年五月に南本町にある少林寺の南屋敷に喜良市簡易小学校として創立され、昭和五十年一月に現在地に校舎を移転しています。



▲節目を祝い校歌を斉唱する児童たち

式典では、長谷川校長が「地域先人の英知と努力によって支えられてきました。百二十周年を節目に輝かしい歴史と伝統を守り、未来に向かって一層励んでいきます」と式辞。歴代教職員や歴代PTA役員などに感謝状を贈った後、鳴海町長らが祝辞を述べました。

最後に、全校児童による校歌斉唱と四年生以上の児童が器楽合奏を披露し、出席者から大きな拍手が送られていきました。また同校はこの日、昭和六十二年に福祉協力校に指定されて以来、町の老人福祉施設などを慰問し、福祉活動に積極的に協力していることが認められ、県内の小学校としては唯一の青森県ふれあい活動功労者知事表彰を受賞。節目の日に華を添える吉報となりました。



# 太宰をしのぶ ⑦ 金木町「太宰ゆかりの地」(6)

金木町太宰会々長  
木下 巽

金木町太宰散策道に沿って「太宰ゆかりの地」を紙上で案内して参りましたが、「生家と離れ」を残して一巡したことになります。「生家と離れ」については、章を改めて記すことにしまして、今回から散策道以外の「太宰ゆかりの地」を紹介してみます。

作品『津軽』には、「高長根・修練農場・鹿の子川溜池・鹿の子瀧」が描かれてます。『津軽』執筆の依頼を受けた太宰さんは、昭和十九年五月十二日、小山書店の加納正吉氏のすすめで、津軽取材旅行のため三鷹を出発します。

五月二十二日ころ、金木の生家に着き、その翌々日、姪の陽子さんとお婿さん、アヤと四人で「高長根」に遊びに行きます。その途中で、修練農場に立ち寄っています。

## 修練農場

「農場の入口に、大きい石碑が立ってゐて、それには、昭和十年八月、朝香宮様の御成、

同年九月、高松宮様の御成、同年十月、秩父宮様ならびに同妃宮様の御成、昭和十三年八月に秩父宮様ふたび御成、という幾重もの光榮を謹んで記してゐるのである。金木町の人たちは、この農場を、も

同年九月、高松宮様の御成、農場と変わったが、昭和三十一年四月、弘前大学農学部設立に当たり、県から国に寄付され爾後大学付属農場として今日に至っている。」と記述されています。



▲農場敷地内にある石碑  
太宰はここから富士

つともつと誇ってよい。金木だけではない、これは、津軽平野の永遠の誇りであろう。」と『津軽』に描いています。

石碑は、公舎西側の一面に建てられています。高さ四メートル九十センチ・幅九十五センチと立派なものです。南

この修練農場は、金木郷土史に「昭和六年青森県立金木種鶏場として発足し、昭和九年農事経営指導所、同年七月には修練農場と改称。戦後は開拓増産修練農場、営農実習

正面には「慈徳仰愈高」内務大臣末次信正謹書（徳を慈しみ仰げば愈高し―人徳を大切にすれば尊敬の念がより一層高まるものである）。西側には「昭和十三年十二月八

日金木町建之、北碑陰には、弘前高等学校教授彌富破摩雄撰文による建碑趣意が書かれています。（農場資料参照）

ここで注目されているのは、農場南西方向から見た岩木山眺望の描写です。「津軽富士と呼ばれてゐる一千六百二十五メートルの岩木山が、満目の水田の盡きるところに、ふはりと浮んでゐる感じなのである。したたるほど眞蒼で、

軽平野全部、隅から隅まで見渡す事が出来ると言ひたいくらゐのものであった。（略）岩木川が細い銀線みたいに、キラキラ光って見える。」と描いて、頂上から眺めた、田光沼、十三湖を詳細に記述し、更に日本海、七里長濱、北は権現崎、南は大戸瀬崎まで一眸し、「眼前に展開する津軽平野の風景にうつとりしてしまつた。」とあります。

富士山よりもつと女らしく、十二単衣の裾を、銀杏の葉をさかさに立てたやうにぱらりとひらいて左右の均齋も正しく、静かに青空に浮んでゐる。決して高い山ではないが、けれども、なかなか透きとほるくらゐに嬋娟たる美女ではある。」と描いています。

## 高長根（高流山）

「高流といふ山の名前も、姪の説に依ると、高長根といふのが正しい呼び方で、なだらかに裾のひろがつてゐるさまが、さながら長根の感じとか何とかといふ事であつたが、これにもまた諸説があるのであろう。（略）二百メートルにも足りない、小山であるが、見晴らしはなかなかよい。津

今から五十数年前のことですが、今眺めてもその原風景には大きな変わりはありません。その場所は、大東ヶ丘サントピアホームの裏側から少しのところす。山道付近まで道路は舗装されていますので、このあと少し無理すれば、頂上まで車で登れます。ただ、私有地のためか、ロープが張られ、掘削されています。渡部芳紀中央大学教授（三鷹太宰展監修者）を案内したとき、「すばらしいね、すごいね、ここに展望台があれば、もっとすばらしいでしょうね」と興奮しながら走り回り、さかんにシャッターをきりまくっていた姿が印象的でした。

# 便秘のお話

内科 小野 ふさ子



突然お便所のお話で失礼いたします。もし、お食事の方がいらつしやいましたらお許しください。

たかが便秘といふなかれ、すつきり出たかどうかでその日一日の気分が決まるというくらいこれは重大なことであります。ひそかに、あるいはおつづらにお悩みの方は少なからずいらつしやると思われますので今回取り上げてみました。

## 【便秘とは】

「便秘」という悩みの中身には、排便回数の減少、便の量が大変少なくあるいは便が硬く乾燥し排便が困難な状態、排便時に強い「りきみ」(地元弁で言うと「けつぱり」)を必要とする状態、排便が不十分で残便感がある、などが通常は混じっていると思います。便秘の判定は、感じ方の個人

差も大きいのでかなり漠然としたものになってしまいますが、三日に一回あるいはそれ以下の便通を便秘状態のひとつの尺度と考えて良いと思います。

## 【便秘の原因疾患】

便秘の原因となる疾患は大変多いのですが、大きくは器質的なもの(腸管やその他の内臓、あるいは全身性の疾患に基づくもの)と機能的なもの(明らかな器質的な原因がなく、腸管の運動状態によるもの)に分けられます。

### ①器質的疾患

- \*腸管の閉そくや狭さく、屈曲異常等
- \*大腸ガン、大腸ポリープ、多発大腸、憩室症、S状結腸軸捻転、手術後癒着など
- \*腹腔内臓器の異常
- 腫瘍、腹水、妊娠など
- \*全身性疾患

### ②機能的疾患

\*薬剤の影響

抗精神病薬、抗うつ剤、麻薬性鎮痛薬等

\*最も多い便秘は以上の異常が証明されない機能的便秘です。

### 機能性便秘

(a)単純性便秘

主として腸の運動機能の低下に基づく便秘で、食物繊維の摂取不足、不適当な食生活

や生活習慣、便意があるのに排便をこらえる習慣などが誘因となつています。排便回数の減少が主な症状で、腹痛は無いかあつても軽度のことが多いようです。

(b)過敏性腸症候群  
けいれん性便秘ともよばれ、

下部大腸の緊張こう進が原因です。若い人に多く、男性より女性に多く、便秘とともに腹痛、腹部膨満感、頭痛、全身倦怠、腰痛、不安、緊張などもみられます。排便回数の減少よりも、排便量の減少、便が細い、兎糞便(小さくころころした便)、粘液便、残便感等の悩みの方が強く、普通便や下痢と交代でおこることも多くみられます。

## 【便秘の治療法】

器質的疾患や薬剤による便秘に対しては原因に対する治療や処置を行います。

機能性便秘に対しては先に述べた発生病因を取り除くための生活改善がまず重要でこれでは不十分な時は薬剤を使用します。

### ①生活

まずは規則正しい生活、食事、排便習慣、適度の運動と休養が基本です。腸も生きてゐるからです。便意がある時は我慢は禁物!、間違つたダイエットも要注意です。

### ②十分な食物繊維の摂取を!

食物繊維は便の量や含まれる水分の量を増やし、便の大

腸通過を促し、排便回数を増やしてくれます。最近、日本人にも増えてきた大腸ガンの発生をおさえてくれる働きもあるといわれています。

### ③以上で解決しない時は下剤や座薬、浣腸などの出番となります。

過敏性腸症候群に対しては、精神安定薬や腸運動調整薬が必要となることもあります。いづれにしても、便秘の原因を見極めることがたいへん大事です。便はあなたの分身です。愛情こめて(!!)じつと観察するくせをつけてください。そしてもちろん、心配な時、解決しない時は遠慮無くご相談ください。

## 伝言板

◎届いています

十月十五日 役場前路上(くず米一袋)

十月二十七日

芦野公園内(紺色の財布)

心当たりの方は、金木

警察署落し物係まで。

◎係から

このコーナーを利用したい方は役場企画室まで。

# 戸籍の窓

十月届出分

おめでとー

工藤 未結 (秋男) 金木  
 今藤 淳里 (幸雄) 嘉瀬  
 外崎 舞有 (文教) 藤枝  
 伊東 汰紋 (貴仁) 金木  
 石戸谷 黛政 (貞助) 金木  
 今里 (三三) 喜良市

おしあわせに

小笠原浩治 (俊治) 市浦村  
 鎌田 美鈴 (千代梅) 嘉瀬  
 小林 猛 (利勝) 金木  
 佐々木直子 (金良) 五所川原市  
 原田 直伸 (正弘) 中柏木  
 内海 広美 (勝興) 嘉瀬  
 今 良幸 (金雄) 喜良市  
 岩野 仁美 (勲) 福島県  
 藤森 淳 (鉄雄) 五所川原市  
 鳴海 エリカ (博友) 嘉瀬  
 斎藤 裕一 (金義) 金木  
 葛西 香織 (勝治) 中里町

葛西 一幸 (幸治) 鶴田町  
 竹内 育美 (由利子) 金木  
 (工藤隆史(藤雄) 五所川原市  
 吉田美穂子 (春義) 金木

おくやみ

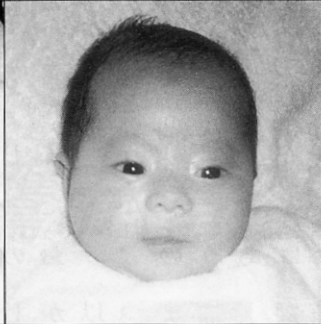
荒関 ミツエ (78才) 金木  
 山中 雄湖 (56才) 嘉瀬  
 長内 健造 (74才) 金木  
 原田 ソナ (73才) 藤枝  
 今 達治 (55才) 喜良市  
 秋元 直衛 (77才) 嘉瀬  
 木下 清 (28才) 嘉瀬  
 角田 キエ (73才) 金木

## はじめまして



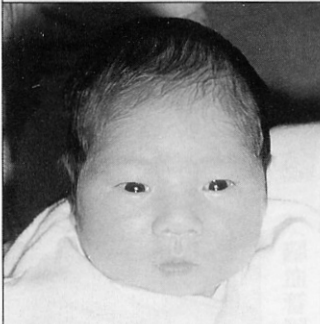
淳里

健康で元気に育ってね  
 (母 裕子より)



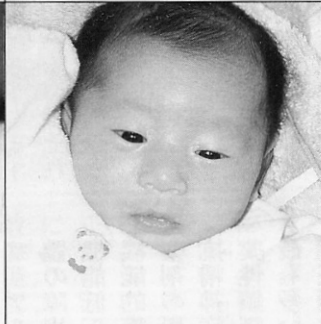
未結

やさしい子に育ってほしい  
 (父 秋男より)



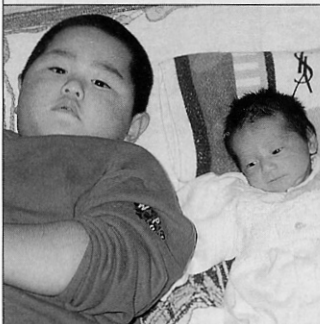
汰紋

元気に大きく育ってね  
 (母 陽子より)



舞有

かわいい子に育ってほしい  
 (母 美栄子より)



黛政

早く一緒に遊ぼうぜ  
 (兄 優宗より)

この欄は、金木町に住所を有している方々を掲載しています。掲載を希望しない方は町民課窓口へ届出の際申し出てください。

## 人口と世帯

	10月末現在	前年同月比
男	5,857人	△ 22人
女	6,447人	△ 26人
計	12,304人	△ 48人
世帯数	3,943	7

## ♥かなぎ公民館ブライダル情報♥ HAPPY Wedding

この度めでたく「かなぎ公民館ブライダル」(企画・進行=事務局「金木町中央公民館」)によりカップルとなられた若いお二人をご紹介します。

新婦 太田 祐子さん  
 (五所川原市)  
 新郎 其田 悟さん  
 (川倉)



1998.9.19

★ご結婚をご予定されている方は、お気軽に金木町中央公民館にご相談ください。すべて事務局が手配いたします。(☎53-3581)  
 また、お二人のお名前と結婚記念日を刺しゅうした豪華桐箱入アルバムの特典品等々たくさんの特典があります。